共通テスト英語リーディング
本番そっくり予想問題　第2回

解答・解説

80分・100点・大問8題

原田英語 haradaeigo.com

問題はすべてオリジナルで、大学入試センターとは関係ありません。印刷・授業での配布は自由です。再配布や販売はご遠慮ください。

正解一覧

第1問 問1　②（2点）

第1問 問2　④（2点）

第1問 問3　①（2点）

第2問 問1　③（3点）

第2問 問2　①（3点）

第2問 問3　④（3点）

第2問 問4　②（3点）

第3問 問1　④（3点）

第3問 問2　③→①→④→②（3点）

第3問 問3　②（3点）

第4問 問1　①（3点）

第4問 問2　③（3点）

第4問 問3　④（3点）

第4問 問4　②（3点）

第5問 問1　②（3点）

第5問 問2　③（3点）

第5問 問3　④（3点）

第5問 問4　①（3点）

第5問 問5　②・⑤（4点）

第6問 問1　①・③（3点）

第6問 問2　⑤→②→④→①（3点）

第6問 問3　④（3点）

第6問 問4　②（3点）

第7問 問1　②（3点）

第7問 問2　③・⑥（4点）

第7問 問3　④（3点）

第7問 問4　①（3点）

第7問 問5　③（3点）

第8問 問1　②（3点）

第8問 問2　④（3点）

第8問 問3　③・④**（順不同）**／②（4点）

第8問 問4　①（3点）

第8問 問5　③（4点）

第1問 （配点 6）市民プールの夏季利用案内のチラシ（料金・時間・注意事項）

本文の要旨　市民プールの夏季利用案内。期間は7月18日から8月31日までで、火曜は休み。午前・午後の部は毎日あり、夜の部は金曜と土曜だけで入場料が半額になる。料金は大人600円、高校生は学生証を見せて400円、6歳から中学生までは200円、6歳未満は無料。全員が水泳帽をかぶる必要があり、受付で100円で借りられる。ロッカーの100円は後で戻る。毎時間10分の休憩がある。雷で閉まったときは返金はないが、券は8月31日までの別の日に使える。

問1　正解 ②（2点）　You will go to the Saturday evening session with your father and nine-year-old sister. You have your student ID, and only your sister needs to rent a cap. How much will you pay in total?

入場料は父600円＋自分400円＋妹200円＝1,200円。夜の部は "half price" なので600円。半額になるのは入場料だけなので、帽子を借りる100円を足して700円。1は帽子代を忘れた計算（半分だけ正しい）。3と4は夜の部の半額を見落としている。

問2　正解 ④（2点）　Which of the following is true about Aoba City Pool?

根拠は "The coin comes back when you open your locker to leave."。1は夜の部が "Fridays and Saturdays only" なので言い過ぎ。2は毎時間10分の休憩で全員が水から出るので違う。3は、帽子は必要だが "You can rent one at the front desk" とあり、借りることもできるので言い過ぎ。

問3　正解 ①（2点）　If the pool closes because of thunder during your visit, you should ____ .

根拠は "your ticket can be used on another day until August 31"。8月31日までを later this summer と言い換えている。2は "We cannot return your money" と矛盾する。3は本文の語句を並べただけ。4は期限が今年の8月31日なので時のすり替え。

語句　flyer＝チラシ　／　session＝（区切られた）利用時間・部　／　entrance fee＝入場料　／　half price＝半額　／　rent＝（お金を払って）借りる　／　thunder＝雷（の音）　／　hold on to ～＝～を手放さずに持っておく

第2問 （配点 12）イギリスの高校の生徒が書いたブログ記事「寝る前のスマートフォン使用と睡眠」の校内調査の報告と、読者2人のコメント

本文の要旨　イギリスの高校生 Maya が、10〜12年生600人のうち240人が答えた調査を報告している（割合はすべて答えた240人に対するもの）。81%がほとんどの夜にベッドでスマートフォンを使い、使う時間が長いグループほど平均の睡眠は短い（使わない人は8.2時間、1時間を超える人は6.4時間）。66%は前の週に授業中に眠くなった。Maya は寝る前の30分は使わないことを勧め、学校で睡眠の習慣を教えるべきだと考える。Oliver はスマートフォンが原因とは限らないと疑い、Hannah は体験から効果を認めつつ、授業よりも友達との挑戦の方がよいと言う。

問1　正解 ③（3点）　The results of Maya's survey show that ____ .

表では、ベッドで使う時間が長いほど平均の睡眠は 8.2 → 7.8 → 7.1 → 6.4 時間と短くなるので3が正解。1は、ベッドで使う人のうち messaging friends は31%で、最も多いのは短い動画の44%（言い過ぎ）。2は、寝室の外に置くのは答えた240人の12%で、25%は Over an hour の人の割合。4は、None の人は8.2時間で本文と矛盾する。

問2　正解 ①（3点）　One fact (not an opinion) stated in Maya's blog post is that ____ .

"I have started charging my phone in the kitchen" は実際にしたことなので事実。これを言い換えた1が正解。2は "I guess"、3は "In my view"、4は "I also think ... should" が付いた Maya の意見で、本文にはあるが事実ではない（事実と意見の区別）。

問3　正解 ④（3点）　According to the blog post, ____ .

割合はすべて答えた240人に対するもの（"The percentages below are for these 240 students"）。"81% said they use their phone in bed" の81%を around four in five と言い換えた4が正解。1は、ベッドで使う人の約3分の1（31%）は messaging friends で、games は15%。2は、600人のうち答えたのは240人なので every は言い過ぎ。3は、眠くなったのは66%で約3分の2。

問4　正解 ②（3点）　From the comments, it can be said that ____ .

Oliver は "I'm not sure" と原因かどうかを疑うが、Hannah は電話を下の階に置いて "fallen asleep much faster" と、その関係を体験で裏付けるので2が正解。1は Oliver だけに合う（半分だけ正しい）。3は、Hannah は授業の効果を疑う。4は、Oliver の睡眠は約6時間半で、表の6.4時間と合う（"matches your table"）ので本文と矛盾する。

語句　carry out a survey＝調査を行う　／　I guess (that) 〜＝〜ではないかと思う　／　compare A with B＝AをBと比べる　／　charge＝〜を充電する　／　phone-free＝スマートフォンを使わない　／　in my view＝私の考えでは　／　cause＝原因　／　I doubt (that) 〜＝〜ではないと思う・〜を疑う

第3問　（配点 9）吹奏楽部の生徒が初めてのソロで失敗しかけ、録音をきっかけに練習の仕方を変えて本番を迎える物語（部活動の文集の体験記）

本文の要旨　吹奏楽部でクラリネットを吹く「私」は、9月に秋の演奏会の8小節のソロを初めて任された。毎日、最初から最後まで速いテンポで繰り返し吹いたが、本番2週間前のリハーサルで5小節目の途中で止まってしまう。その夜、隣の席のソウタが送ってくれた録音を聞き、原因は指の遅さではなく、4小節目を急いで息を吸う時間が無くなることだと気付く。翌朝から4・5小節目だけをゆっくり練習し、少しずつ速くしていった。本番では一度も止まらずに吹き切り、回数よりも練習の目的が大切だと学んだ。

問1　正解 ④（3点）　What did the writer find out from Sota's recording?

第4段落の "the trouble began earlier. I rushed through bar four" が根拠。止まったのは5小節目だが、原因はその前の4小節目にあったので4。1は録音を聞く前に信じていたこと（"I had believed"）で「時のすり替え」。2は "no time to breathe" と逆。3は急いでいたのが語り手だけなので「人のすり替え」。

問2　正解 ③ → ① → ④ → ②（3点）　Choose four out of the five options (1〜5) and put them in the order they happened.

起きた順は、9月に先生からソロに選ばれる(3)→リハーサルの夜にソウタの録音を聞く(1)→翌朝から4・5小節目だけを練習し始める(4)→先週の土曜日に本番で吹く(2)。本番は冒頭に、録音は新しい練習の後に書かれているが、"had heard the night before" から録音が先と分かる。5は "thought about asking ... but I said nothing" で、考えただけなので使わない。

問3　正解 ②（3点）　Which best shows how the writer's feelings changed?

ソロに選ばれて "I was proud"、リハーサルで止まって "My face burned"（恥ずかしい）、録音を聞いて "something I could fix"（希望）、本番後は "walked off the stage smiling"（満足）なので2。4は使われた語は合うが順が違い、最後も笑顔で終わるので合わない「半分だけ正しい」型。1の退屈、3の怒りは本文に根拠がない。

語句　bar＝（楽譜の）小節　／　rehearsal＝リハーサル、通し練習　／　My face burned.＝顔が熱くなった（恥ずかしかった）　／　raise＝〜を上げる　／　from beginning to end＝最初から最後まで　／　rush through 〜＝〜を急いで通り過ぎる　／　method＝方法、やり方

第4問 （配点 12）英語の授業で書いたエッセイ「朝食を抜く高校生を減らすには」の下書きと、先生のコメント

本文の要旨　朝食を抜く高校生を減らす方法を述べたエッセイの下書き。学校の調査では2年生200人のうち54人が週に3回以上朝食を抜いており、その多くは時間がないと答えた。筆者は、前の晩におにぎりやゆで卵を用意しておくこと、学校の売店で授業の前に簡単な朝食を売ること、1週間の朝食を記録して自分の習慣に気づくことの3つを提案している。先生は、つなぐ語句を足すこと、時間が短くて済むことを説明する文を入れること、主題と関係のない文を差し替えること、3つの提案をまとめた結論にすることを助言している。

問1　正解 ①（3点）　Based on Comment (1), which is the best expression to add?

前の文は「夜遅く寝て、家を出る直前に起きる」という原因、後の文は「空腹のまま登校し、午前の授業で眠くなる」という結果なので、As a result,（その結果）が入る。For instance, は例、On the other hand, は逆の内容、Similarly, は似た事柄をつなぐ語句で、どれも原因と結果の関係を表せない。

問2　正解 ③（3点）　Based on Comment (2), where is the best place to add the sentence below?
The next morning, you only need to take it out and eat it, which takes less than five minutes.

take it out の it は、前の晩に作って "kept in the refrigerator" とされた rice ball や boiled egg を指すので、その文の直後の【C】に入る。【A】【B】では it が指す物も冷蔵庫もまだ出ていない。【D】では、まとめの This way の文の後に手順が戻り、順序が合わない。

問3　正解 ④（3点）　Based on Comment (3), which is the best sentence to replace the underlined one?

後に続くのは、近くの高校が朝早く売店で食べ物を売り始め、朝食を食べずに来る生徒が約半分に減ったという例。「すでに試して良い結果が出た学校がある」という4が、この例につながる。1は Every や成績の話が「言い過ぎ」で本文に根拠がない。2は提案に反対する内容で、段落の主張と逆になる。3は昼食の話で、元の文と同じく段落の主題と関係がない。

問4　正解 ②（3点）　Based on Comment (4), which is the best way to rewrite paragraph [5]?

3つの提案は、前の晩に用意する（第2段落）、学校で朝食を売る（第3段落）、食べた物を記録する（第4段落）。2はこの3つを言い換え、Let's try で読者に呼びかけている。1は早く寝ることなどが本文の提案になく、nobody も「言い過ぎ」。3は第3段落の提案だけで「半分だけ正しい」。4は「本文の単語を並べただけ」で、最後の文も読者への呼びかけになっていない。

語句　skip breakfast＝朝食を抜く　／　survey＝調査　／　refrigerator＝冷蔵庫　／　this way＝こうすれば、この方法で　／　health committee＝保健委員会　／　sum up ～＝～をまとめる　／　off topic＝主題から外れている　／　lead into ～＝～につながる、～を導く

第5問 （配点 16）ニュージーランドの語学学校が開く高校生向け2週間の短期研修（お知らせ・コースと料金の表・変更を知らせるメール）

本文の要旨　ニュージーランドのトゥイ・ベイ語学センターが、15〜18歳の留学生に向けた2週間の冬の研修（7月20日〜31日）を案内している。コースは4つで、午後の活動・必要な英語力・料金が違う。後から届いたメールで、アウトドアのコースは1週間後ろにずれ、ホームステイは平日の弁当が付いて週330ドルに上がり、農場のコースは満員で締め切られた。到着日の空港への迎えは無料になり、早期割引の期限は5月15日まで延びた。

問1　正解 ②（3点）　The main purpose of the notice is to ____.

お知らせの第1段落に our school welcomes students aged 15 to 18 from overseas とあり、研修の内容や料金を紹介している。正解 2 は students aged 15 to 18 を teenagers と言い換えている。4 は後から届いたメールの目的（資料のすり替え）。1 と 3 は本文に根拠がない。

問2　正解 ③（3点）　According to the notice, which of the following is NOT covered by the course fee?

What the course fee covers の項目に Lunch is not included とあるので、昼食を言い換えた 3 が正解。1 は one Saturday day trip、2 は your textbook、4 は afternoon activities の言い換えで、どれも料金に入っている。メールの弁当はホームステイ料金の話で、コース料金とは別。

問3　正解 ④（3点）　Your friend Daiki has not applied yet. He is a beginner in English, swims well, and must leave New Zealand on 2 August. After reading all three texts, which course can he take?

Exam Skills は Intermediate or above なので初級者は選べない。Outdoor はメールで 27 July to 7 August に変わり、8月2日の出国に間に合わない。Farm & Nature は all 12 places ... have been taken で締め切り。残るのは 4 だけ。2 と 3 は表だけに合う誤答。

問4　正解 ①（3点）　You will apply for General English on 10 May. You will stay with a host family for two weeks, and you want the school to drive you from the airport on 19 July and back to the airport after the course. How much will you pay in total?

割引の期限は 15 May に延びたので、コース料金は 1,200 の10%引きで 1,080。登録料 100、ホームステイは 330×2＝660、到着日の迎えは無料で帰りだけ 80。合計 1,080＋100＋660＋80＝1,920。2 は迎えを往復とも払った場合、3 は割引を忘れた場合、4 はお知らせだけで計算した場合の金額。

問5　正解 ②・⑤（4点）　According to the email, which two of the following are true? (The order does not matter.)

Outdoor は 31 July までの予定が 7 August までになったので 2 が正しい。ホストファミリーが make lunch for their students to take to school from Monday to Friday と、平日の昼食を用意するので 5 も正しい。1 は割引の期限が延びたので逆。3 は定員が埋まっただけで中止ではない。4 は無料なのが到着日の迎えだけなので、言い過ぎ。

語句　overseas＝海外（から・へ）　／　registration fee＝登録料（申し込むときに1回払う料金）　／　homestay＝ホームステイ（一般家庭での滞在）　／　airport pick-up＝空港への出迎え　／　discount＝割引　／　intermediate＝中級の　／　kayaking＝カヤック（小さな舟）に乗ること　／　no longer＝もはや〜ない

第6問 （配点 12）大学生が、高校2年の夏に山小屋で働いた経験を思い出す物語（現在→4年前の回想→現在）と、発表用のアウトライン

本文の要旨　20歳の大学生の「私」は、4年ぶりに風見小屋へ荷物を背負って登りながら、高校2年の夏を思い出す。バレーボールの大会メンバーに選ばれず、逃げるように働き始めた山小屋の仕事は想像と違い、毎日帰る日を数えていた。決まりを破って水を無駄にし、重い水を運んで恥ずかしさを知る。嵐の夜、自分が畳んだ毛布と数えて使った水で登山者を助け、単調な仕事の意味に気付く。現在、小屋に着いた私は、かつての自分と同じ顔をした少年に毛布の畳み方を教えようとする。

問1　正解 ①・③（3点）　Choose the best two options for [A]. (The order does not matter.)

毎晩 crossed off the date ... counted how many were left から、早く終わってほしかったと分かる（1）。The work was nothing like that から 3 も合う。2 は I had never climbed a real mountain と矛盾。4 は水の決まりと逆。5 は窓が雲で覆われていたので違う（本文の単語を並べただけ）。

問2　正解 ⑤ → ② → ④ → ①（3点）　Choose four out of the five events (1〜5) and rearrange them in the order they happened, from the earliest to the latest, for [B1] → [B2] → [B3] → [B4].

一番古いのは、土井さんが小屋を継ぐずっと前に霧で道に迷い、助けられたこと（5。Long before Ms. Doi ran this hut, she had come up here ...）。次が語り手の6日目の夕方に水を流し続けたこと（2）、3週目の嵐の夜に登山者の世話をしたこと（4）。最後が4年後の3月に手紙でもう一度働きたいと頼んだこと（1）で、本文では最初に書かれているが起きたのは最後。3 は I had failed to make the girls' volleyball team とあり、起きていない。

問3　正解 ④（3点）　Choose the best option for [C].

登山者に感謝された後の none of it was for nothing. Each small job had been waiting for a night like that one が根拠。毎日の単調な仕事に意味があったと気付いたので、正解 4 はその言い換え。1 は小屋の主人になると決めたとは書かれていない。2 は never を使った言い過ぎで本文にない。3 は健太と速さを比べる場面がなく、人のすり替え。

問4　正解 ②（3点）　Choose the best option for [D].

想像と違う仕事にがっかりし（nothing like that）、水を無駄にして恥ずかしくなり（My face burned）、嵐の夜の後に満たされ（none of it was for nothing）、最後は去りたくなかった（I did not want to finish）。合うのは 2。1 は健太に怒った場面がなく、最後も逆。3 と 4 は最後の気持ちが本文と逆。

語句　ridge＝尾根　／　fail to make the team＝チームのメンバーに選ばれない　／　cross off ...＝…を線で消す　／　raise one's voice＝声を荒らげる　／　spring＝泉、湧き水（岩の間から水が出る所）　／　without a word of blame＝一言も責めずに　／　run a hut＝山小屋を営む、管理する　／　for nothing＝無駄に

第7問 （配点 16）説明文「人はなぜ行列のできる店を選ぶのか（他人の行動を手がかりにする心理）」と発表スライドの下書き

本文の要旨　人は何を選べばよいか分からないとき、他人の行動を手がかりにする。これは時間と手間を省く賢い近道でもあり、よく知らない場面や、自分と似た人が並んでいるときに特に強く働く。しかし、並んでいる人も前の人をまねただけかもしれない。同じレモネードを売る2つの屋台の実験では、最初に行列を作った側が3倍売れた。待ち時間が長すぎる場合や個性を示す物では働きにくい。行列は「多くの人が選んだ」ことしか教えないので、大きな決定では、経験・自分との近さ・別々に決めたかを確かめ、理由を調べることが大切である。

問1　正解 ②（3点）　Choose the best option for [1] on Slide 1.

第1段落の when we are not sure what to do, we treat the behavior of other people as a clue を言い換えた2が正解（clue→hint）。1の「嫌われるのが怖い」は常識では言えそうだが本文にない。3は第4段落の、わざと人と違う物を選ぶ人の話で逆。4は店が利用する例の一つにすぎず、定義ではない（半分だけ正しい）。

問2　正解 ③・⑥（4点）　Choose the best two options for [2] and [3] on Slide 2. (The order does not matter.)

第2段落の調査で、知らない町では64%、自分の近所では22%なので、状況をよく知らないときに強い（3）。同じ段落の a line of people around their own age attracted them more と people like us から6も正解。1は22%の側で逆。2は第4段落で半数以上が立ち去る場合。4はわざと人と違う物を選ぶ人がいる場合。5は、年が大きく離れた人の列は引き付ける力が弱いので逆。

問3　正解 ④（3点）　Choose the best option for [4] on Slide 3.

第3段落で、2つの屋台は exactly the same lemonade を同じ値段で売り、最初の10分に手伝いの人が並んだ側が138杯対46杯（ちょうど3倍）で勝ち、2日目は並ぶ屋台を替えると結果が逆になった。差を生んだのは最初の行列なので4が正解。1は味が同じなので誤り。2は2日目に逆転したことと矛盾（時のすり替え）。3は left without buying anything と矛盾する。

問4　正解 ①（3点）　Choose the best option for [5] on Slide 5.

最終段落の a line only tells us that many people made a choice. It does not tell us why と、第5段落の「大きな決定では理由を調べる価値がある」をまとめた1が正解。2は not as foolish、often useful と矛盾。3は only が言い過ぎ。4は一部の店の工夫を every、never に広げた言い過ぎ。

問5　正解 ③（3点）　According to the article, which student is using other people's behavior most wisely?

第5段落の3つの問い（実際の経験があるか・必要とするものが自分と似ているか・別々に決めたか）と「理由を調べる」に全部合うのは3。同じ部の仲間が、それぞれ自分で試し、理由も説明している。1と2はラベルや利用者数だけで、誰がなぜ選んだか分からない。4は人の行動を手がかりにすること自体を否定しており、often useful という本文と合わない（言い過ぎ）。

語句　social proof＝社会的証明（他人の行動を手がかりにすること）　／　treat A as a clue＝Aを手がかりとして扱う　／　unfamiliar＝よく知らない、なじみのない　／　by chance＝偶然に　／　be reversed＝逆になる　／　on purpose＝わざと、意図的に　／　by oneself＝自分だけで、他に頼らず　／　it is worth ~ing＝〜する価値がある

第8問 （配点 17）賛否のあるテーマ「高校は宿題を大きく減らすべきか」（5人の意見・自分の立場・エッセイのアウトライン・資料A・資料B）

本文の要旨　高校が宿題を大きく減らすべきかについて、吹奏楽部の生徒と養護の先生は賛成（夜遅くまでの宿題で睡眠が削られ、学んだことが頭に残らない）、数学の先生と大学生は反対（練習の時間が足りない、一人で学ぶ習慣が付く、家庭による差が広がる）、保護者は量よりも締め切りの重なりが問題だと考えている。資料Aは、宿題を半分にした高校で成績は下がらず、提出率が上がり、先生が一人一人に助言できるようになったことを示す。資料Bは、宿題が3時間以上の生徒は睡眠が短く、点数も伸びていないことを示す。

問1　正解 ②（3点）　Which of the following best summarizes Author A's opinion?

Aは the trouble is not the total amount but the timing と述べ、まず締め切りを散らすことを提案しているので2が正解。1は「夜中まで」だけ正しく、Aは大きく減らすことに賛成していない（半分だけ正しい）。3は some nights を most nights に変えた言い過ぎ。4は本文の単語を並べただけ。

問2　正解 ④（3点）　Both Authors B and E mention that ____.

Bは work through a problem alone, without a teacher beside them、Eは learned to work by themselves と述べ、どちらも「一人で学ぶ力が付く」と言うので4が正解。1はBだけ、2はEだけの意見（資料の片方だけに合う）。3はCとDの意見で、人のすり替え。

問3　正解 ③・④（順不同）／②（4点）　Choose the best options for [X], [Y], and [Z] in Step 2.

大きく減らすことに賛成なのはC（We need far less of it）とD（reduce homework greatly）だけ。Aは時期の調整、BとEは反対。Cは眠くて授業を覚えていない、Dは寝不足だと学んだことを忘れると述べるので、共通の主張は2。1は本文にない。3はAの意見（人のすり替え）。4は本文の単語を並べただけ。

問4　正解 ①（3点）　Based on Source A, which of the following is the most appropriate for Reason 2?

資料Aでは、期限までに提出する生徒（handed in their homework on time）が68%から93%に増え（選択肢は turn it in by the due date と言い換え）、先生は write advice for each student ができるようになったので1が正解。2は1学期に数学の平均点が2点下がったことと矛盾（時のすり替え）。3は「空いた時間はスマートフォンに使う」という声があり、根拠がない。4は難関大学を目指す生徒が追加の練習を求めたことと矛盾する。

問5　正解 ③（4点）　For Reason 3, you have decided to write, "Beyond a certain point, more homework takes away sleep without improving results." Based on Source B, which option best supports this statement?

3時間以上の生徒の睡眠は5.5時間で、1時間未満の7.4時間より1.9時間短い。点数は63点で、1〜2時間の68点より低いので3が正解。1は最も低いのは1時間未満の61点。2は2時間以上は330＋150＝480人で、1,200人の40%。4は22%の3倍は66%で、62%はそれに届かない。どれも数字の読み違いを誘う誤答。

語句　deadline / due date＝締め切り、提出の期限　／　unless ...＝…しない限り　／　assignment＝課題、宿題　／　be grateful for ...＝〜をありがたく思う　／　struggle＝苦労する　／　hand in＝提出する　／　turn in＝提出する（= hand in）　／　percentage＝割合、パーセント